

このたび、広島大学は教育開発計画の研究分野において、広島大学における「優れた大学教員の確保・育成のための方針～若手教員が安心して活躍する大学に～」に基づき雇用する教員1名(准教授又は助教)を国際公募します。

この公募により雇用する教員の職名は、採用時の業績審査により、准教授(テニュア(終身在職権))、テニュアトラック教員(准教授、助教)のいずれかに決定します。

テニュアトラック教員として雇用された場合で、テニュアトラック期間満了までにテニュア審査に合格することを条件として、准教授としてテニュア(終身在職権)を取得できる新たなポストとなっています。新たな分野を切り開く研究計画提案のもとに、腰を据えて教育研究に専念していただくことを前提としています。

したがって、採用時の審査においては、それまでの教育研究業績の審査に加え、テニュアトラック期間に留まらず10年程度の中長期的な研究計画の内容について審査します。テニュア審査においては、その過程の到達度と将来の展望を加味して総合的に審査します。

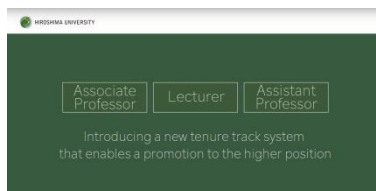
広島大学は、採用されたテニュアトラック教員に対して、スタートアップ支援経費の措置、メンター教員の配置等により当該教員が自立して研究活動を行うことのできる環境を整備する予定です。なお、テニュアが付与されなかった場合に、テニュアトラック期間の満了する日の翌日から1年を限度として、特任教員として雇用できる環境も整えています。

広島大学の理念、長期ビジョン、中期目標(<https://www.hiroshima-u.ac.jp/about>)にご賛同いただき、広島大学の教育研究を背負ってご活躍いただける意欲のある方をお待ちしております。

広島大学長 越智光夫

広島大学の人事制度改革については、以下のURL先をご覧ください。

<https://www.hiroshima-u.ac.jp/employment/kyoinkobo>



令和元年 月 日

関係各位

広島大学大学院国際協力研究科長  
馬場 卓也 (公印省略)

教員の公募について (依頼)

拝啓 時下ますます御清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、この度本研究科では、下記の要領で教員を公募することとなりました。

つきましては、関係者各位へ周知いただくとともに、適任者の推薦及び応募についてよろしくお取り計らい願います。

敬具

記

1. 所属 (配属) 広島大学学術院 (大学院国際協力研究科 教育文化講座)
2. 職名・人員 准教授又は助教 1名  
(採用時の業績審査により、テニュア教員 (准教授)、  
テニュアトラック教員 (准教授、助教) のいずれかに決定)
3. 採用予定年月日 令和2年 4月 1日
4. 任期又は有期雇用契約期間 **【テニュアトラック制適用の場合】**  
(テニュアトラック期間) 7年 (准教授の場合)  
5年 (助教の場合)  
広島大学のテニュアトラック制に関する規則に基づき、テニュアトラック期間が満了する6月前までに准教授でのテニュアを付与するかどうかのテニュア審査を行い、これに合格すればテニュアを付与します。  
テニュア審査は、中間審査及び最終審査により行います。なお、最終審査の結果、テニュアを付与しなかったときは、テニュアトラック期間の満了をもって退職となります。  
また、テニュアトラック期間に出産・育児・介護のライフイベントがあった場合には、休業期間に応じテニュアトラック期間を一定期間延長することができます。  
※テニュア審査基準の詳細については、お問い合わせください。
5. 専門分野 教育開発計画
6. 担当科目 教養教育科目：国際協力を考える (英語) 等  
学部 (専門教育科目)：必要に応じて担当  
大学院 (博士課程前期)：SDGsのための教育開発計画論Ⅰ・Ⅱ (英語) 等  
大学院 (博士課程後期)：SDGsのための教育開発計画論演習 (英語) 等  
この他、教養教育科目や他の学部・大学院の専門教育科目、全学事業も担当することがあります。

7. 応募資格 次の要件をすべて満たす者  
(1)博士の学位(外国において授与されたこれに相当する学位を含む。)を有すること。  
(2)博士課程後期の論文指導を担当できること。  
(3)大学院における博士課程前期の論文指導経験を有すること。  
(4)英語による教育・研究指導ができること。
8. 応募書類 (1)履歴書(市販用紙を使用, 写真貼付)  
過去5年間に広島大学で雇用(TA, RA, 研究員等を含む)されたことがある場合は, 漏らさず記載してください  
(2)研究業績一覧(各研究業績に番号を付け, 審査付論文の番号にはアンダーライン, 主要研究業績5点には番号の冒頭に\*印を付けること。)  
(3)主要な研究業績5点(別刷又はコピー, 著書)  
(4)教育上の主要な業績  
(5)社会貢献に関わる主要な業績  
(6)大学等における管理運営に関わる主要な実績  
(7)最近5年間における外部資金の獲得状況  
(8)研究・教育に対する抱負と中長期計画(2,000~3,000字)  
(9)ResearcherID または ORCID 情報(様式任意)  
(※Clarivate Analytics 社または ORCID web ページより取得が可能。)  
(10) (1)~(9)の書類すべて記録した USB または DVD
9. 応募期限 令和元年10月1日(火) 17:00(日本標準時)(必着)
10. 応募書類送付先 〒739-8529 広島県東広島市鏡山1丁目5番1号  
広島大学大学院国際協力研究科長 馬場 卓也  
※封筒の表に「大学院国際協力研究科教育文化講座教員応募書類在中」と朱書し, 書留郵便で送付してください。
11. 選考方法 (1)書類審査  
(2)必要に応じて面接を行うことがあります。面接を行う場合は, 原則として, 英語による模擬授業を行います。ただし, 交通費等は支給できませんので, あらかじめ御了承ください。なお, 書類審査通過者に面接を行う場合は, その形式について, 別途連絡します。  
(3)広島大学は, 男女共同参画を推進しています。本学は, 「男女共同参画社会基本法」の趣旨に則り, 業績(研究業績, 教育業績, 社会貢献等)及び人物の評価において同等と認められた場合は女性を採用します。
12. 勤務形態 (1)勤務時間 8:30~17:00(月~金), 休憩時間 12:00~12:45  
専門業務型裁量労働制の適用に同意した場合は, 1日7時間45分, 1週間38時間45分働いたものとみなされます。  
(2)勤務日は, 原則として月曜日から金曜日(祝日を除く。)です。  
(3)休日は, 原則として土曜, 日曜, 祝日となります。

13. 給 与 等 (1)採用になった方には、月給制又は年俸制が適用されます。
- ※現在、新たな年俸制を検討しており、採用時点で新年俸制が導入されている場合は、新年俸制が適用されます。
- (2)採用となった方には、本学の規則に基づき、採用に伴う旅費を支給できる場合がありますのでお問い合わせ下さい。
- 【月給制適用の場合】
- 国、独立行政法人、地方公共団体又は国家公務員退職手当法に定める公庫等を退職後、引き続いて本学に採用される場合は、退職手当の算定の基礎となる在職期間は通算されません。法人化前の取扱いとは異なりますのでご注意ください。
- なお、他の国立大学法人又は独立行政法人国立高等専門学校機構等を退職後引き続いて本学に採用される場合は、現所属機関に同様の定めがある場合に限り通算されます。
14. 評 価 本学の教員には、採用以降の業務実績について個人評価を行い、その結果を点数化し、処遇へ反映します。
15. 募 集 者 名 国立大学法人広島大学
16. そ の 他 (1) 試用期間：あり（6月間）
- (2) 応募書類により取得する個人情報は、採用者の選考及び採用後の人事・給与・福祉関係に必要な手続に利用するものであり、この目的以外で利用又は提供することはありません。
- なお、採用に至らなかった方の応募書類は、当該採用選考業務終了後、適切な方法にて廃棄いたします。
- (3) 広島大学では全ての大学教員は「学術院」に所属し、学部、研究科、研究院、病院などの教育研究組織に配属されます。教員は配属された教育研究組織の教育・研究に従事することになりますが、教養教育科目や他の教育研究組織の教育・研究、全学事業を担当することもあります。
- (4) 広島大学では教員の分野ごとに採用最低基準を定めています。人事選考過程の第一次選考において本基準を適用し、最低基準を満たした方を選考対象といたします。本公募で適用する採用最低基準は以下のURLに掲載しています。
- <https://www.hiroshima-u.ac.jp/employment/kyoinkobo/idec>
- (5) 広島大学では本学の求人情報（研究職、事務職等）を提供しています。配偶者が就業を希望される場合等にご参照ください。
- 求人情報：<https://www.hiroshima-u.ac.jp/employment>
17. 問 い 合 わ せ 先 広島大学大学院国際協力研究科 教育文化講座 清水 欽也  
TEL:082-424-6946 FAX:082-424-6904  
E-mail:kinyas@hiroshima-u.ac.jp